

## 2 - 7 男鹿半島及びその周辺における重力測量

### Gravity Survey on and around the Oga Peninsula

東北大学 理学部  
Faculty of Science, Tohoku University

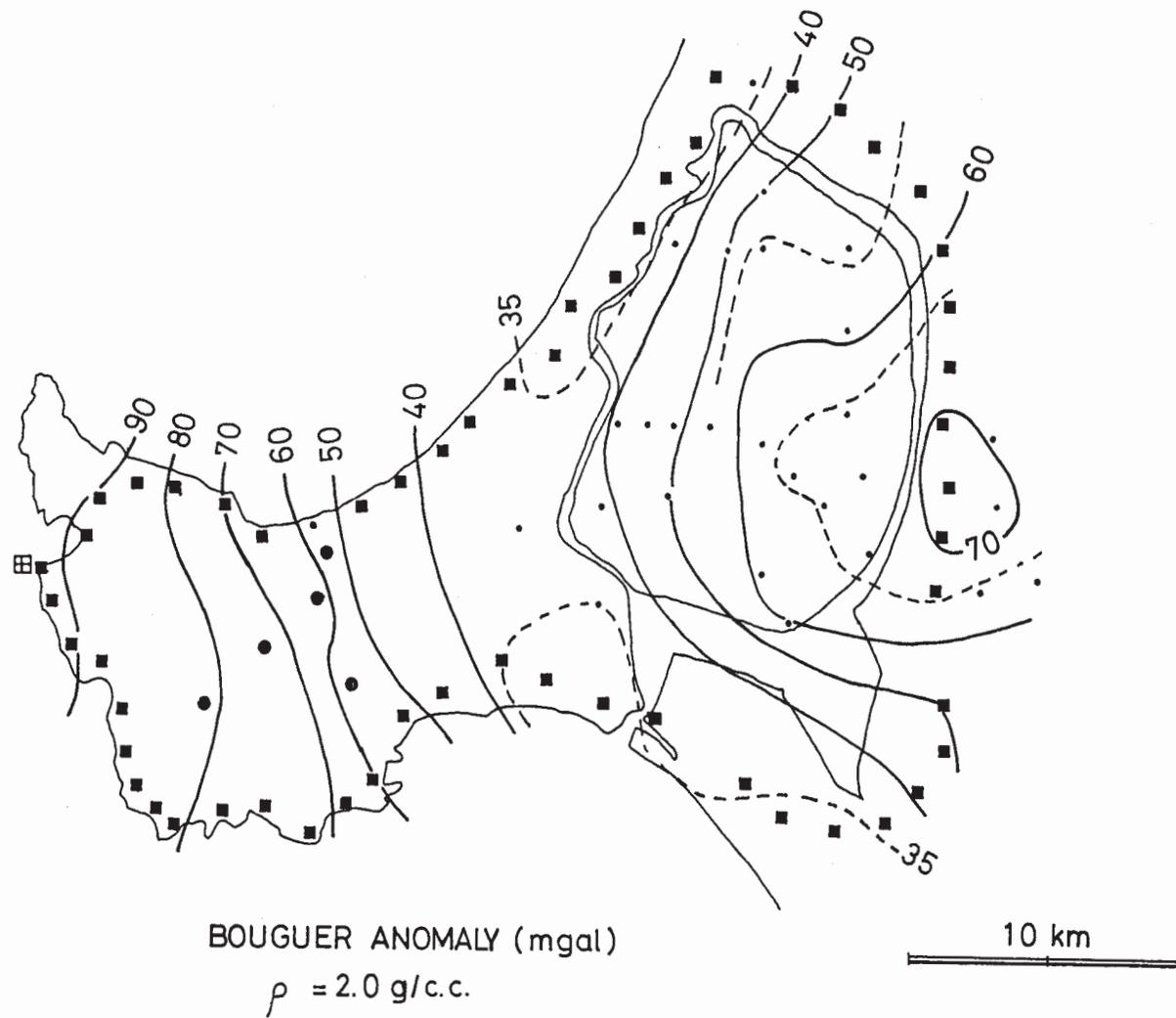
1982年7月、男鹿半島及びその周辺において重力測量を実施した。使用した重力計は2台のLa Coste 重力計（G 578 およびD 67）である。

測定の基本には秋田地殻変動観測所地震計室（秋田市）を使用し、常にこの点から出発し、この点に戻るループで測定された。この種の精密測定は初めてであるので、今後の比較のための基礎資料とするためできるだけ多くの点で測定を実施した。第1図は測点及びブーゲー異常（仮定密度 $2.0 \text{ g/cm}^3$ 、地形補正は施してない）の分布図である。精密測定の測点は一等水準点57点、その他の点（三角点等）7点の計64点である。測点の中にはJGSN75の秋田一等重力点も含まれている。

なお、男鹿半島の隆起については国土地理院<sup>1)</sup>により報告されているが、隆起量の分布はブーゲー異常の分布と非常に良く似ている。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：東北地方の上下変動，連絡会報，28（1982），53-58.



第1図 男鹿半島及びその周辺の重力異常分布図（ブーゲー異常， $\rho = 2.0 \text{ g/cm}^3$ ），黒四角は精密測定を行った一等水準点，黒丸は水準点以外の精密測定点，黒点はその他の重力測定点

Fig. 1 Distribution of observation Points and Bouguer anomalies ( $\rho=2.0 \text{ g/cm}^3$ )